

平成29年度第1回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 平成29年4月24日（月）午後3時～4時30分
- ・ 場 所 さいたま共済会館5階 502会議室
- ・ 出席委員 13名

【被保険者代表委員】

小山委員、島田委員、中島委員、山崎委員

【保険医又は保険薬剤師代表委員】

廣澤委員、小杉委員、膳亀委員

【公益代表委員】

安藤委員、山下委員、伊藤委員、横山委員

【被用者保険等保険者代表委員】

柴田委員、中村委員

1 議事（1）埼玉県国民健康保険運営方針（原案）について

<事務局>

- ・ 資料1に基づき「埼玉県国民健康保険運営方針（原案）」について説明
（運営方針（原案）「5 市町村における保険税の徴収の適正な実施」から「10 施策の実施のために必要な関係市町村相互間の連絡調整等」まで）

【主な意見】

○「5 市町村における保険税の徴収の適正な実施」

（1）国民健康保険税収納率の向上

- ・ 口座振替の利用促進については、現状でも行っているのであれば、今までと違ってどのように取り組んでいくかしっかり考える必要があるのではないかと。
- ・ 「○市町村は、独自に予定収納率を設定することができます。」「○標準的な収納率以上の予定収納率を設定し、収納額を確保すれば、市町村の独自財源にすることができます。また、現年課税分の収納率を向上することで保険税の賦課額を圧縮し、一人当たり保険税額を低くすることが可能となります。」とあるが、分かりやすい表現にした方が良いのではないかと。
- ・ 全国と比較すると、現年度分よりも滞納繰越分の方が差が大きい。現年度分を中心にして取組をするのはよいが、滞納繰越分についても課題や目標のところで言及をすべきではないかと。滞納繰越分の中には、資産のある方々もいるので、そういう方々については法的な措置を含めた、少し厳しい措置をやっていかなければならないと思う。

○「6 市町村における保険給付の適正な実施」

(1) レセプト点検の充実強化

- ・ レセプト点検について、内容点検効果率の目標を全国平均を目指すという数値目標は適当ではないのではないか。

(2) 療養費の支給の適正化

- ・ 療養費の項目については、はり灸あんまマッサージについても言及していただきたい。最低でも柔道整復「等」という表現で入れていただきたい。

○「7 医療費の適正化の取組」

(1) データヘルスの推進

- ・ 「また、保険者間の連携や関係部署との連携を図り、効果的・効率的な事業実施に努めます。」とあるが、保険者間及び関係部署では分かりにくいので、どこと連携するのか具体的に記載したほうが伝わりやすいのではないか。

(2) 特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上

- ・ 特定保健指導の利用率が低いので、もう少し力を入れるべき。「受診勧奨の強化」については、「受診勧奨・利用勧奨の強化」としてはどうか。
- ・ 若い人の受診率を上げたいので、目標に若い世代の受診率のことを入れるか、取組の中で若い人への受診勧奨に力を入れていくとか、そのようなことはできないか。
- ・ 特定健診、保健指導を受ける環境（場所）が異なっている。環境の整備などに力を入れるべきと考える。
- ・ 被保険者は動いていく。国保だけをターゲットにするのではなく、他の保険者との協力を盛り込んでいただきたい。（4）糖尿病性腎症重症化予防事業の実施についても同様。